

事業方針（要旨）

- 超高齢社会を迎え、とりわけ一人暮らしの高齢者や高齢者夫婦世帯の割合が高い大阪市においては、地域の繋がりが希薄になり、認知症高齢者の増加が見込まれるなど、高齢者を取り巻く環境は厳しい状況にあります。
- このような状況において、高齢者がお互いを支え合い励まし合いながら豊かで活力のある長寿社会を築いていくためには、高齢者自らが問題意識を高め、生きがいと健康づくりに努めるとともに、これまでに培ってきた知識や経験を生かし、積極的に地域社会の中で役割を果たすことが極めて大切です。
- 新型コロナウイルス感染症の流行により従来のクラブ活動を続けることが難しくなっていますが、感染防止のための「新しい生活様式」を取り入れながら、創意工夫を凝らして多様なクラブ活動と互助活動を推進し、老人クラブが地域の高齢者を代表する組織として誇りをもって友愛活動や奉仕活動の一層の取り組みを進めます。
- また、会員の減少、指導者の不足、財源不足など極めて厳しい状況に対応するため、「大老連運営改革検討委員会」で組織基盤の強化と自主財源の確保方を検討しながら、老人クラブ創設の原点である単位老人クラブの仲間づくり活動などの支援や各部会の活動を通じて人材の育成に取り組むとともに、「大老連会員増強行動計画」のもと一層の会員増強運動に取り組めます。
- 老人クラブの柱である健康づくり活動は、コロナ禍における感染予防と健康の保持・増進の両立を図れるよう運営等に工夫しながらスポーツ大会の開催や健康ウォーキング事業への助成など、高齢者の健康づくりを一層進めます。
- 以上を踏まえて、全老連が提唱している「のばそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」をメインテーマに、豊かで活力のある長寿社会の実現をめざして、「健康・友愛・奉仕」の活動を進めます。

事業計画（概要）

I 心とからだの健康づくりをすすめる

- 1 「健康をすすめる運動」の推進（健康づくり推進リーダーの育成など）
- 2 スポーツの振興（グラウンドゴルフ大会・ペタンク大会の開催など）

II 高齢者が相互に支援する友愛活動をすすめる

- 1 在宅福祉を支える友愛活動の推進（ねたきり高齢者友愛訪問・百歳長寿者お祝い訪問など）
- 2 転入者をあたたかく迎える運動の実施
- 3 災害時支援の取り組み

Ⅲ 「きれいな地球をこどもたちへ」環境への取り組みをすすめる

- 1 全国一斉「社会奉仕の日」の取り組み（環境美化・世代間交流活動など）
- 2 環境美化・リサイクル活動の取り組み

Ⅳ 生活と地域を豊かにする楽しいクラブ活動を広げる

- 1 レクリエーション活動・サークル活動の支援（カラオケ大会の開催など）
- 2 地域文化の保存・伝承活動と世代間交流・次世代育成支援活動の推進（大阪市高齢者福祉大会開催・大老連供養塔法要など）
- 3 協賛事業の実施
- 4 「老人の日・老人週間」の取り組み（9月15日～21日）

Ⅴ はつらつとしたクラブづくりをすすめる

- 1 老人クラブリーダーの育成（若手リーダーの育成、女性部活動の充実・リーダーの育成など）
- 2 研修会の実施（老人クラブ指導者・女性部指導者合同研修会など）
- 3 研修会への参加（全国老人クラブ大会、近畿ブロック老人クラブリーダー研修会など）
- 4 安全対策運動の組織的取り組み（子ども見守りパトロール活動など）
- 5 高齢消費者被害防止の取り組み（見守りサポーターフォロー研修の実施など）
- 6 関係団体・関係機関との連携、協力
- 7 老人クラブ活動の情報の収集と内外への積極的なPR（大老連だより、区老連機関紙、全老連広報紙の活用など）
- 8 老人クラブや高齢者に関する調査活動

Ⅵ クラブ発展の基盤強化をすすめる

- 1 組織の基盤強化と自主財源の確保を図る会員増強運動の推進
- 2 大阪市老連の運営・組織強化
- 3 事務局体制の組織強化
- 4 老人クラブ組織の基盤整備